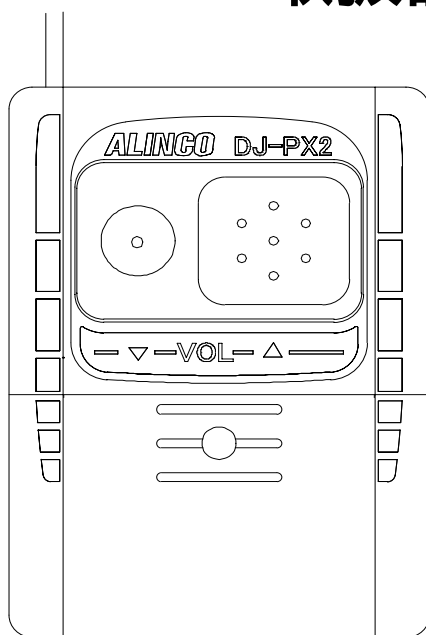
ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PX2
取扱説明書

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

アルインコ株式会社

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。この取扱説明書では製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。
🛇	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。
(!)	左の記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

■使用環境・条件

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。（電源も入れないで下さい。）運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないで下さい。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車等の運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

この製品を使用できるのは日本国内のみです。
外国では使用できません。

■トランシーバー本体の取扱いについて

このトランシーバーは調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。

音量を大きくしたまま聴き続けると耳を痛める可能性があります。音量はなるべく低めでお使いになることをお勧めします。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

■充電器の取扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

充電器のＡＣプラグのコードをタコ足配線しないでください。
加熱、発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のＡＣアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のＡＣアダプターをＡＣコンセントに確実に差し込んでください。ＡＣアダプターの刃に金具などが触れると、火災、感電、故障の原因となります。

充電器のＡＣアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災、感電、故障の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐに本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ＡＣアダプターをＡＣコンセントから抜いてください。異常な状態のままで使用すると、火災、感電、故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

- ◆ 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ◆ 落としたり、ケースが破損したりしたとき
- ◆ 内部に水や異物が入ったとき
- ◆ 充電器のＡＣアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら、安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は、ＡＣアダプターをＡＣコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

本体や充電器のケースは開けないでください。けが、感電、故障の原因となります。内部の点検・修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご依頼ください。

⚠ 注意

■使用環境・条件

⃠ テレビやラジオの近くで使用しないください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

⃠ 湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⃠ ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

⃠ 直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

⃠ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取扱いについて

ⓘ 長時間ご使用にならないときは、安全のため本体の電源を OFF にして電池を取り外してください。

ⓘ アンテナを誤って目にささないようにしてください。

⃠ 外部スピーカー／マイクロホン端子には、付属またはオプションのスピーカー／マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となります。

■充電器の取扱いについて

充電器のＡＣアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
必ずＡＣアダプター本体を持って抜いてください。

充電器のＡＣアダプターを熱器具に近づけないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

■イヤホンマイクの取扱いについて

本体ジャックへの接続は、必ずプラグを持って行ってください。

コードは手荒く扱うと断線します。イヤホンマイクは保証の対象外ですのでご了承ください。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ＡＣアダプターをＡＣコンセントから抜いてください。

汚れた場合は、柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質するおそれがあります。

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■ご使用環境

高温・多湿・直射日光のあたるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。
分解したり、内部を開けることは絶対にしないでください。

■水につけないで

本機は防水仕様ではありません。直接雨や水滴がかかるような使い方は避けてください。万一、水がかかった時はすぐに乾いた布で拭き取って電池を取り外し、完全に乾くまでは電源スイッチを入れないでください。

■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内などでは使用しないでください。
また日本国内でのみ使用してください。

■通信距離

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵などの障害物があると通信できる距離が短くなります。
また、本機は携帯性を重視するため、ショートアンテナを採用しています。ロングアンテナタイプと比べると通信距離が約 3 割程度短くなります。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

付属品

開梱時、付属品を確認してください。

- □ 本体　DJ-PX2
- □ イヤホンマイク
- □ ネックストラップ
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 保証書

注意　・保証書にご購入の日付が記載されていない時は、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

※本機をお使いになる前に単 4 形乾電池 2 本（同じメーカー・同じ種類の新しいもの）をご用意ください。
大容量のアルカリやオキシライドなど、高性能乾電池のご使用をお勧めします。

※市販のニッケル水素電池（Ni-MH）もご使用になれますが、電池の特性上、電池持続時間が短くなりますのでご注意ください。
また、充電や取扱いに注意が必要で、誤って使用すると電池が液漏れしたり、発熱・破裂などを起こす危険がありますので、市販の充電池をご使用になっての不具合は保証の対象外とさせていただきます。充電池、充電器の取扱説明書をよく読んでお使いください。
充電池、充電器は弊社純正のオプション・アクセサリーのご使用をお勧めします。

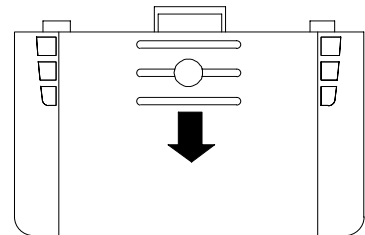
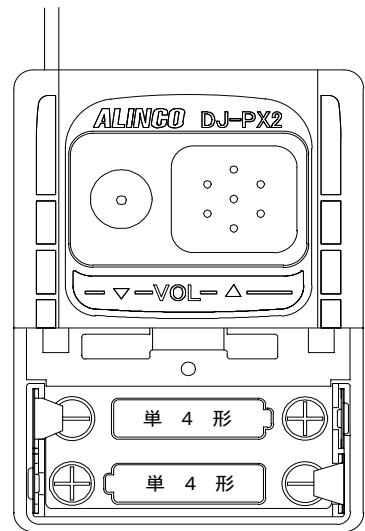
乾電池の入れ方

乾電池を次のように装着します。

①カバーを開ける

突起を利用して電池カバーを下方向にスライドさせます。

②電池を入れる

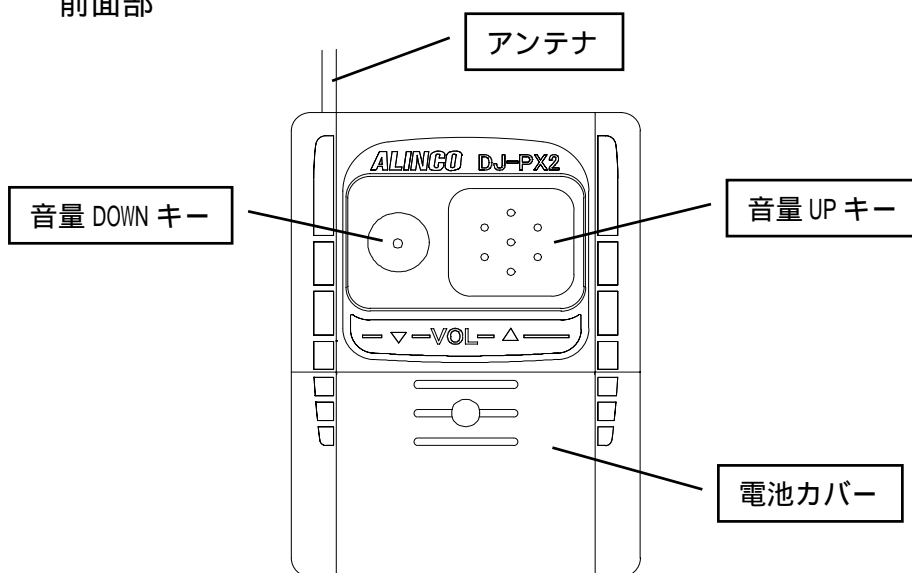
市販の単 4 形乾電池 2 本を、ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがって装着します。

注意
- +/-の向きを間違えないように注意してください。
- 電池は常に同じ種類の新しいものに交換してください。
- 長時間使用しない場合は電池を取り外してください。
- 電池の交換は本体の電源スイッチを OFF にしてから行ってください。

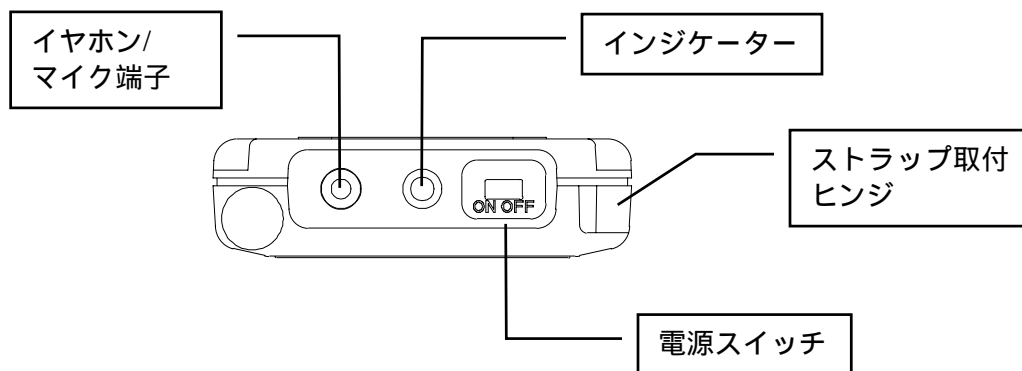
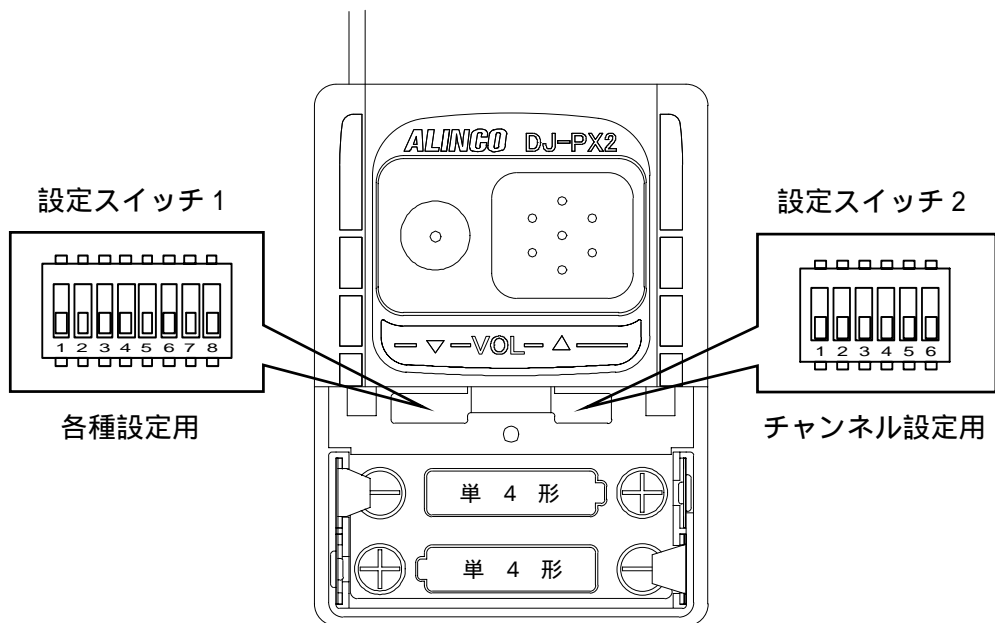
③カバーを閉める

ツメを合わせ、カバーを閉めます。
きちんと閉まっていることを確認してください。

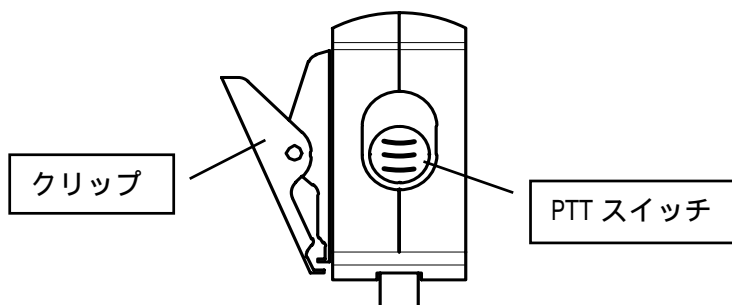
各部の名称

本機の各部の名称を説明します。各部のはたらきは P14 を参照ください。

■　前面部

注意　・アンテナを持って本機をぶら下げたり、アンテナを曲げたりすると破損する恐れがありますので取扱いにはご注意ください。

■　上面部

■　電池カバー内部

設定スイッチ 1	
1	グループトーク機能設定
2	
3	
4	
5	
6	
7	エンドピー機能設定
8	Ni-MH 電池充電機能設定

設定スイッチ 2	
1	チャンネル設定
2	
3	
4	
5	
6	交互通話／中継通信設定

■　イヤホンマイク（マイク部）

各部のはたらき

本機の各部のはたらきを説明します。

□ 音量 UP キー
音量を上げるときに使用します。押すごとに 1 段階ずつ変化します。

□ 音量 DOWN キー
音量を下げるときに使用します。押すごとに 1 段階ずつ変化します。

メモ
・キーを押すと「ザッ」という音が聞こえますので最適な音量に調節してください。
・安全のため、キーを押し続けても音量は変化しないようになっています。適切な音量になるまでキー操作を繰り返してください。
・電源を OFF（または電池を交換）すると、音量は初期値に戻ります。

□ イヤホン/マイク端子（φ 2.5）
付属のイヤホンマイクを接続します。

メモ
・付属のイヤホンマイクのイヤホンは左右どちらの耳でもお使いになれます。イヤホン部分を回転させて耳に合うように調整してください。

□ インジケーター（赤ランプ）
電源を入れると点灯します。
電池容量が減少する（電池の交換時期が近づく）と点滅します。
P10 を参照し、電池を交換して下さい。

□ 電源スイッチ
左方向にスライドさせると電源が入ります。
（電源が入ったことを知らせる「ピポパ」音が鳴ります）

□ 設定スイッチ 1（8 極）
各種機能を設定するときに使います。（P.19）

□ 設定スイッチ 2（6 極）
チャンネルを設定するときに使います。（P.17）

□　PTT スイッチ（ロック機能付き）

押すと送信します。
PTT スイッチを押さずに上側にスライドさせると連続送信状態になります。戻すと受信状態になります。

□　クリップ

ユニット背面のクリップで操作しやすい場所に装着してご使用ください。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーは､特定のユーザーがチャンネルを独占したり、他の通信を妨害できないようにするため、総務省の規定により通信に制限が設けられています。この仕様は特定小電力トランシーバーに共通で、設定により解除することはできません。

□　３分制限（３分以上は連続で通信できません）

送信、受信合わせて３分以内です。
１０秒前に警告音が鳴ります。
通信時間が合計３分になると自動的に送信は停止します。

注意　・３分の通信時間制限により、自動的に通信が止まった後は、約２秒たたないと次の送信はできません。

□　キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときはイヤホンマイクの［PTT］キーを押しても送信できません。
受信中に［PTT］キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

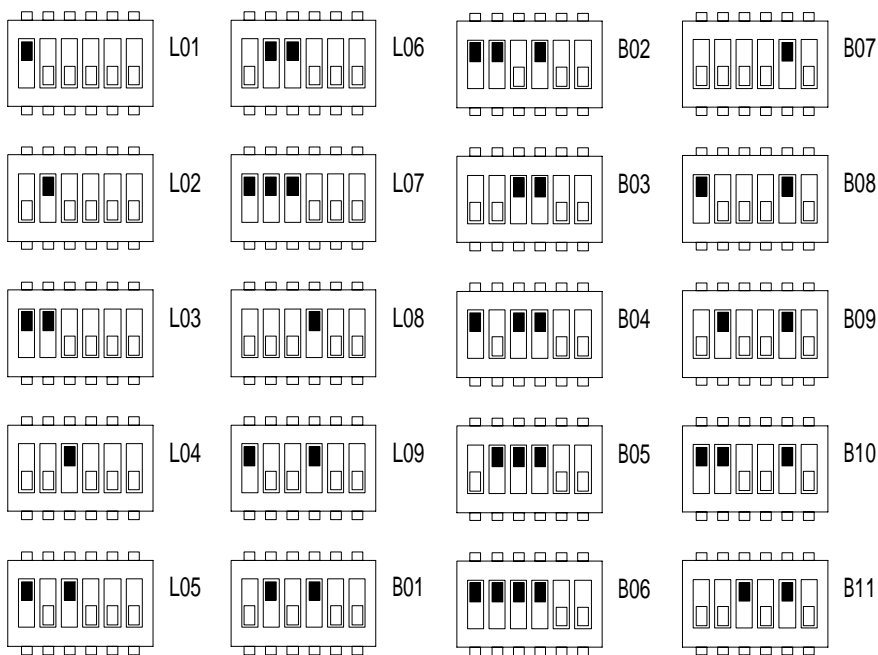
2 スイッチの設定方法

スイッチを設定する前にお読みください。

チャンネルの設定方法

チャンネルの設定方法について説明します。
本機は他の特定小電力トランシーバーとも交互通話用チャンネルで基本的な交信ができます。

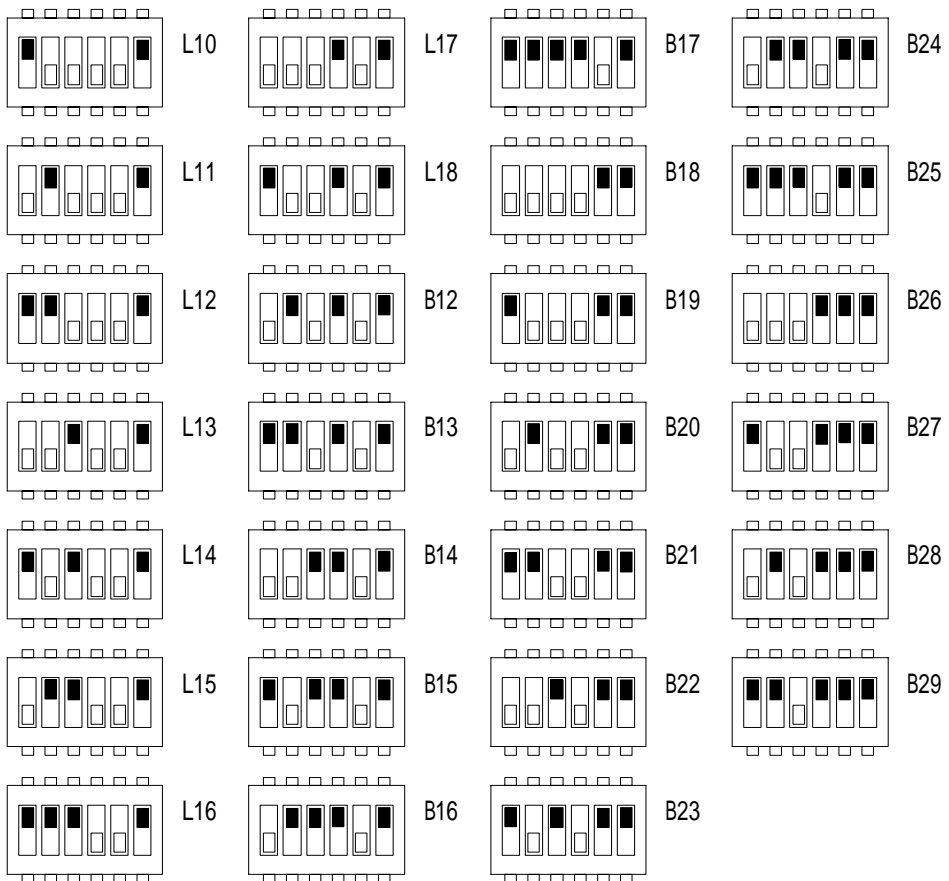
□ 交互通話用チャンネルの設定

設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L01ch～L09ch と 11ch 方式の B01ch～B11ch に合わせることができます。

メモ

- スイッチの切り換えにはペン先のような先端の丸いものをお使いください。ナイフのような鋭利なものではスイッチを破損し、故障の原因となりますのでご注意ください。
- 設定スイッチ 2 を目的のチャンネルに合わせることにより切り換えが有効となります。
- 無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L01ch」となります。
- 異なる特定小電力トランシーバーと通話する場合、その機種が特有の機能や音声調整回路を持っていると正しく動作しないことがありますが本機の故障ではありません。

□ 中継通信用チャンネル（周波数帯 A:440MHz 帯送信）の設定

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と、中継器を介して通信することができます。弊社製の交互通話用中継器が別途必要です。

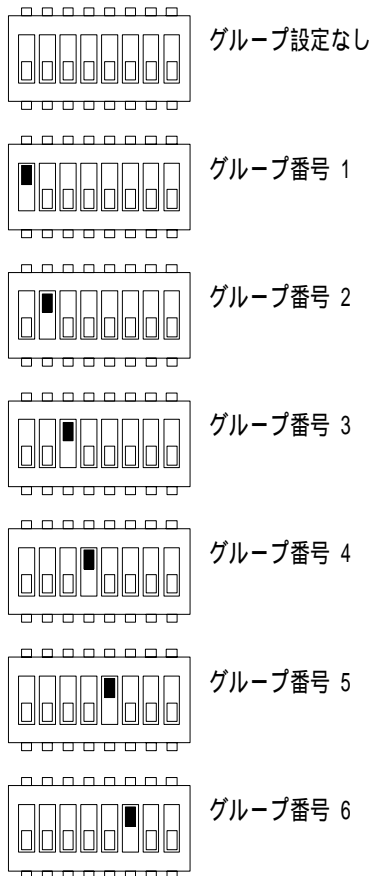
設定スイッチ 2 の倒し方の組合せで、9ch 方式の L10ch〜L18ch と 11ch 方式の B12ch〜B29ch に合わせることができます。

メモ

- 設定スイッチ 2 を目的のチャンネルに合わせることにより切り換えが有効となります。
- 無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「L10ch」となります。
- お使いになる中継器の設定をご確認ください。
  周波数帯は本機とは逆の「B」に設定します。

グループトーク機能の設定方法

同じグループの人とだけ通信したいときはグループトーク機能を設定します。この設定を行うと、同じグループ番号が設定された信号を受信した時だけイヤホンから音声が聞こえます。

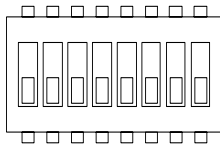
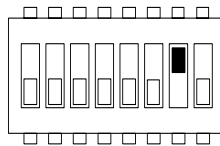
□　グループ番号（6 種類）

設定スイッチ 1 の 1 番～6 番ピンのうちいずれか 1 つだけを ON に設定してください。

メモ

- 設定スイッチ 1 を目的のグループ番号に合わせることにより切り換えが有効となります。
- 無効な組合せ（設定）の場合は、強制的に「一番左側」の設定が有効となります。
- 他の特定小電力トランシーバーのグループトーク機能のグループ番号 1～6 と共通です。

エンドピー機能の設定方法

送信が終わったことを相手に知らせる「ピッ」音のON/OFFを設定することができます。初期状態ではONに設定されています。

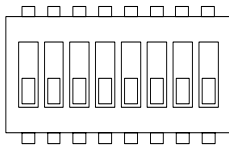
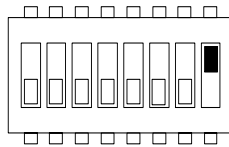
□ 設定スイッチ1の7番ピンをONにすることにより、エンドピー機能をOFFに設定することができます。

エンドピーON

エンドピーOFF

メモ ・エンドピーをOFFに設定しても次の音は鳴ります。

- ● 電源が入ったことを知らせる「ピポパ」音(P.14)
- ● 3分通信制限10秒前の「警告音」と2秒休止中の「アラーム音」(P.16)
- ● キャリアセンス中の「アラーム音」(P.16)

Ni-MH電池充電機能の設定方法

オプションのツイントリクル充電器セット(EDC-153A)でオプションのニッケル水素充電池(EBP-68) をトリクル充電（微少電流でゆっくり時間をかけて充電）することができます。初期状態では OFF に設定されています。

□ 設定スイッチ 1 の 8 番ピンを ON にすることにより、充電機能を ON に設定することができます。

充電機能OFF

充電機能ON

メモ　充電時間の目安は次のとおりです。

EBP-68（920mAh）：約 10 時間

注意
- 単 4 形乾電池装着時には絶対に充電しないでください。液漏れや発熱、破裂を起こし、事故や故障の原因となります。
- 誤った操作により起きた不具合は、保証の対象外となりますのでご了承ください。

付　録

本機の補足事項について記載しています。

各チャンネルの送受信周波数

■　レジャーチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	送受信周波数［MHz］
L01	422.2000
L02	422.2125
L03	422.2250
L04	422.2375
L05	422.2500
L06	422.2625
L07	422.2750
L08	422.2875
L09	422.3000

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］	送信周波数［MHz］
L10	421.8125	440.2625
L11	421.8250	440.2750
L12	421.8375	440.2875
L13	421.8500	440.3000
L14	421.8625	440.3125
L15	421.8750	440.3250
L16	421.8875	440.3375
L17	421.9000	440.3500
L18	421.9125	440.3625

■　ビジネスチャンネル

交互通話用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］
B01	422.0500
B02	422.0625
B03	422.0750
B04	422.0875
B05	422.1000
B06	422.1125
B07	422.1250
B08	422.1375
B09	422.1500
B10	422.1625
B11	422.1750

中継通信用チャンネル

チャンネル	受信周波数［MHz］	送信周波数［MHz］
B12	421.5750	440.0250
B13	421.5875	440.0375
B14	421.6000	440.0500
B15	421.6125	440.0625
B16	421.6250	440.0750
B17	421.6375	440.0875
B18	421.6500	440.1000
B19	421.6625	440.1125
B20	421.6750	440.1250
B21	421.6875	440.1375
B22	421.7000	440.1500
B23	421.7125	440.1625
B24	421.7250	440.1750
B25	421.7375	440.1875
B26	421.7500	440.2000
B27	421.7625	440.2125
B28	421.7750	440.2250
B29	421.7875	440.2375

トーン周波数一覧

■　グループ番号トーン周波数一覧

番号	周波数［Hz］
1	67.0
2	71.9
3	74.4
4	77.0
5	79.7
6	82.5

オプション一覧

EME-28　耳掛け式イヤホンマイク（DJ-PX2 付属品）
EME-2　イヤホンマイク（タイピン型）
EME-24　イヤホンマイク（タイピン型カールコードイヤホン）
＊ EME-18　イヤホン（ストレートケーブル）
＊ EME-25　イヤホン（カールコード）
＊ EME-27　イヤホン（耳掛けタイプ）
EMS-60　スピーカーマイク
ESC-43　ソフトケース
EBP-68　ニッケル水素充電池（1.2V　920mAh）×2
EDC-153A　ツインドリクル充電器セット
EDC-153R　連結充電キット

＊ イヤホンのみのオプションもご使用になれますが、トランシーバー本体に PTT スイッチ/マイクを内蔵しておりませんので送信できなくなります。

故障とお考えになる前に

本機が故障かな？と思ったら、まずこちらをお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
音が出ない。 受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定してください。（P.14）
	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。（P.17～）
	相手と距離が離れすぎている。	通信距離を目安に近づいてください。
	グループ番号が違う。	グループ番号を合わせてください。（P.19）
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	通信制限時間を超過している。	イヤホンマイクの［PTT］キーを離し、2 秒たってから送信してください。

電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。
新しい電池に交換してください。

定　格

受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000～422.3000MHz（送受信） 421.8125～421.9125MHz（受信） 440.2625～440.3625MHz（送信） (12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ)
	ビジネスチャンネル	422.0500～422.1750MHz（送受信） 421.5750～421.7875MHz（受信） 440.0250～440.2375MHz（送信） (12.5KHz ｽﾃｯﾌﾟ)
電波型式	F3E(FM)	
送信出力	10㎽	
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	
受信感度	-14dBμ以下（12dB SINAD）	
中間周波数	1st IF 21.7MHz / 2nd IF 450KHz	
音声出力	5㎽ 以上（8Ω負荷時）	
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC2.4V～DC3.0V	
消費電流	送信時 約 60㎃ 受信定格出力時 約 60㎃ 受信待ち受け時（平均）約 15㎃	
動作温度範囲	-10℃～+50℃	
寸法	54(W)×75(H)×15(D)㎜ （突起物除く）	
	アンテナ長さ　60㎜	
重量	約 98g（乾電池・イヤホンマイク含む）	

※仕様・定格は予告なく変更する場合があります。

ALINCO アルインコ株式会社 電子事業部

営業所／アフターサービスに関するお問い合わせ・・・

他機種と同じ文面を使用。

PS0531
FNNJ-NM